

旧大庄西中学校跡地活用に係るワークショップの設置について

1 基本的な考え方

尼崎市は、平成21年10月に大庄中部<<未来につなぐ>>まちづくり市民委員会(以下「市民委員会」という。)の提言を受けましたが、南ノロ公園に関して解決が難しい課題が確認されたため、これまで検討作業を中断していました。公園に関する課題を解決することを前提に、この度、提言の実現に向けて、大庄地域振興センターが主体となり、多様な地域住民が参画するまちづくりワークショップ(2部会を含む)を設置します。

また、まちづくりワークショップでは、跡地活用の現状(大庄北生涯学習プラザやサンホーム大庄西の開設)や第1次ファシリティマネジメント計画(方針1:圧縮と再編の取組)(以下、「マネジメント計画」という。)の策定等を踏まえたうえで、具体的な活用の方向性を協議します。

なお、ワークショップでとりまとめた意見は、市が跡地活用及び施設整備に関し、責任をもって取り組みます。

2 ワークショップの設置

(1) まちづくりワークショップ

まちづくりワークショップは、対象案件に関連する法律や計画について理解を深めるとともに、市民委員会の提言を十分に熟知してもらう必要があるため、尼崎市が選出する固定メンバーを参加者としてします。

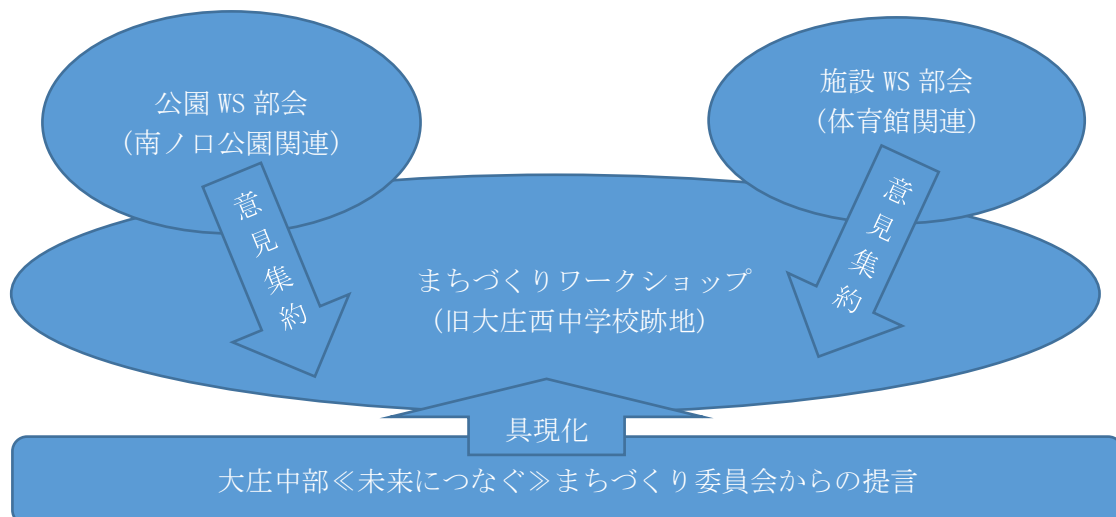
参加者の内訳は、社会福祉連絡協議会の代表者、子育て世代の代表者、既存の跡地活用の関係者、尼崎市と子育てや福祉・青少年育成などに関する包括連携協定を締結している企業(生活協同組合コープこうべ)から大庄地区に関わる推薦者に加えて、市民公募により3名を決定しました。(合計13名)

なお、市民公募の要件は、大庄地区に在住又は在勤、かつ年齢16歳以上65歳以下とし、多数の場合は公開抽選とします。

(2) 部会ワークショップ(公園部会・施設部会)

公園や体育館は、地域住民にとって身近で関心の高い施設であり、ワークショップには多数の住民の参加が見込まれることから、それぞれに特化した公園部会(南ノロ公園関連)と施設部会(体育館関連)を設けます。

また、部会は、大庄地区の在住又は在勤の要件を付加しますが、施設利用者を含めより多くの住民意見が聴取できるよう、年齢要件や参加人数の制限を設けずに参加者を公募します。



3 ワークショップの進め方

ワークショップの開催にあたっては、ホームページ等で周知し、原則、公開とします。

但し、まちづくりワークショップは、傍聴のみ可とし、意見を述べたい傍聴者には、部会への参加を促します。

(1) まちづくりワークショップ

・まちづくりワークショップの参加者は、初回時に市民委員会からの提言内容やマネジメント計画を学ぶとともに、2回目にファシリテーター研修を受講して頂きます。

・各回の意見は、ファシリテーター役である大庄地域振興センター所長が意見集約し、その都度、意見を取りまとめます。

(2) 部会ワークショップ(公園部会・施設部会)

・当日の参加者は、各テーブルに分かれて、部会のテーマに沿った意見を出し合います。

・まちづくりワークショップの参加者は、ファシリテーター役として部会ワークショップに参加し、各テーブルで参加者から出た意見を集約し報告してもらいます。

4 その他(謝礼)

まちづくりワークショップの参加者は、関連する法律や計画、市民委員会の提言内容を学ぶとともに、各部会のファシリテーター役を担うことから、役務の提供に対する謝礼 2 千円/回を支払います。(源泉徴収後の金額を各口座に振り込みます)

5 今後のスケジュール(予定)

・令和2年2月9日(日)14時～ 第1回大庄まちづくりワークショップの開催

・3月22日(日)14時～ 第2回大庄まちづくりワークショップの開催

・5月17日(日)15時～ 第1回公園ワークショップ部会の開催

※春のクリーン運動日のため

・7月19日(日) 第1回施設ワークショップ部会の開催

・9月27日(日) 第3回大庄まちづくりワークショップの開催

・10月25日(日) 予備日

まちづくりワークショップ意見集約(部会を含め合計5~6回程度を予定)

※ 最終の開催日時については、通知にてお知らせします。

以 上